

設立趣旨書

1. 設立の趣旨

わが国は生活スタイルの欧米化、また高齢化が進み、虚血性心疾患を代表とする心疾患の発症率及び死亡率は高率となっています。また虚血性心疾患に対する治療方法は年々進歩を遂げています。

このような中で治療方法を確立した医師から、次世代の医師へと世代交代が始まっており、熟練した医師が積み重ねてきた知識や技術を次世代に伝えるための正しい教育が非常に重要となっています。これが、「技術の継承」という中日本 PCI 研究会の目的となりました。それは医師だけではなく、それらの治療に関わるコメディカルや企業方々にも、知識や技術の継承が必要であり、PCI 治療に関する知識、技術のレベルを向上していくためにも開かれた会が必要であると考え、中日本 PCI 研究会が発足しました。

この目的を遂行するためには、継続した活動が必須となります。現在中日本 PCI 研究会では、年に一回のライブデモンストレーション、Case Review Session と毎月 1 回の CTO ライブデモンストレーションコースを開催しています。その活動を維持していくためにも、会が運営する活動において収入を確保し、また関連企業からの後援や寄付の協力を頂き、財政基盤の強化及び材異性の透明性の確保が必要と考えました。以上の背景をもとに NPO 法に基づく法人格を取得し、特定非営利活動法人中日本 PCI 研究会を設立することとなりました。

2. 設立申請に至るまでの経過

国立病院東京医療センター 茅野真男先生と高瀬クリニック 高瀬真一の呼びかけにより、群馬、栃木の先生方と一緒に 17 年前に両毛 PTCA 研究会が立ち上がりました。また、10 年前からは両毛 PTCA 研究会主催のライブデモンストレーションを 5 回に渡り開催していました。研究会を立ち上げた当時は治療器具も限られており、PCI 手技にもさまざまな工夫が必要とされていました。また、トラブルも多かったです。そのような中で、より安全に PCI を施行するために研究会を通じて、手技の工夫やトラブル回避方法などを、症例を通じながら皆様との情報交換を行い、多くのことを学んで参りました。

その両毛 PTCA 研究会を発展させ、新潟、埼玉、長野、山梨、茨城各県の先生方をお迎えして、新たに中日本 PCI 研究会が、2007 年 6 月に発足しました。その後 2007 年 11 月 24 日の運営委員会において、NPO 法人申請の提案し、審議の上決定しました、そして 2008 年 2 月 1 日に群馬県知事に設立認定申請書を提出し、2008 年 4 月 14 日に認証されました。

それをもって、2008 年 6 月 1 日の運営委員会にて、NPO 設立総会を開催し、発起人より設立の趣旨、定款、事業計画および収支予算、役員などの提案し、審議の上決定致しました。

2008 年 6 月 2 日

法人名称：特定非営利活動法人 中日本 PCI 研究会

設立代表者：高瀬真一